

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2014-28839(P2014-28839A)

【公開日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2013-198117(P2013-198117)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/535 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02 Z N A

C 0 7 K 14/535

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年3月18日(2014.3.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の方法は、症候を緩和する際および/または肺疾患を処置する際に特に有用である。該肺疾患には、肺癌、ニューモシスティス・カリニ、細菌、真菌および/またはウイルスの感染によるかまたはよらない肺炎(市中肺炎、院内肺炎または人工呼吸器関連肺炎を含むが、これに限定しない)および/または細菌、真菌および/またはウイルス感染またはコロニー形成によるかまたはよらない嚢胞性線維症、気管支炎、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、細気管支炎、閉塞性細気管支炎、細菌、真菌および/またはウイルスのコロニー形成によるかまたはよらない閉塞性細気管支炎性器質化肺炎(BOOP)および/または細菌、真菌および/またはウイルス感染またはコロニー形成を包含するが、これに限定するものではない。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 9 】

医薬適応

気管内、気管支内または呼吸細気管支投与による、有効量のGM-CSFまたはその機能的ホ

モログの投与は、次のものに限定しないが、肺癌、小細胞肺癌および扁平上皮肺癌もしくは非小細胞肺癌の両方、肺炎、ニューモシシテイス・カリニ、細菌、真菌または他の一般的でない真菌株および/またはウイルス感染による嚢胞性線維症、または該気道および/または肺実質における細菌、真菌および/またはウイルスのコロニー形成を含んでいる症状の症候緩和および/または該症状に罹患している患者の処置において特に有用である。

疾患の範囲には、後記の様な肺疾患の症状および/または感染が含まれる;気管支炎、嚢胞性線維症、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、細気管支炎、気管支拡張症、閉塞性細気管支炎、閉塞性細気管支炎性器質化肺炎(BOOP)、あらゆる原因の肺炎、例えば市中肺炎、院内肺炎および人口呼吸器関連肺炎(VAP)を包含するが、これらに限定するものではない。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

(発明の要旨)

ある態様において、本発明は、気管内、気管支内または気管支肺胞投与により、有効量の顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)を対象に投与することを含む、その必要がある患者における肺の宿主防御を増強させるための方法に関する。

[実施態様1]

有効量の顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)またはその機能的ホモログを、肺投与により対象に投与することを含む、患者における肺の宿主防御を増強する方法。

[実施態様2]

GM-CSFまたはその機能的ホモログの有効量が、気管内、気管支内または肺胞内投与により投与される、実施態様1の方法。

[実施態様3]

対象が、肺癌、ニューモシシテイス・カリニ、細菌、真菌および/またはウイルス感染によるかまたはよらない肺炎(市中肺炎、院内肺炎または人口呼吸器関連肺炎を包含するが、これに限定しない)および/または細菌、真菌および/またはウイルス感染またはコロニー形成によるかまたはよらない嚢胞性線維症、気管支炎、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、細気管支炎、閉塞性細気管支炎、細菌、真菌および/またはウイルスコロニー形成によるかまたはよらない閉塞性細気管支炎性器質化肺炎(BOOP)、ならびに/または細菌、真菌および/またはウイルス感染またはコロニー形成に罹患している、実施態様1の方法。

[実施態様4]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの溶液を気管支肺胞洗浄により投与される、実施態様1の方法。

[実施態様5]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの溶液をブラインド気管洗浄により投与される、実施態様1の方法。

[実施態様6]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの噴霧用溶液または懸濁液を投与される、実施態様1の方法。

[実施態様7]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの噴霧用エアロゾルまたは吸入用粉末形態を投与される、実施態様1の方法。

[実施態様8]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの、ペグ化、リボソームまたはナノ粒子の調製された形態を投与される、実施態様1の方法。

[実施態様9]

対象が、気管支鏡検査中にGM-CSFまたはその機能的ホモログの直接的適用により、GM-CSFまたはその機能的ホモログを投与される、実施態様1の方法。

[実施態様10]

対象とは哺乳動物である、実施態様1の方法。

[実施態様11]

哺乳動物とはヒトである、実施態様10の方法。

[実施態様12]

ヒトとは、12歳齢よりも年齢が若い子供である、実施態様11の方法。

[実施態様13]

ヒトとは、12歳齢よりも年齢が高い成人である、実施態様11の方法。

[実施態様14]

肺の疾患、例えば肺癌、ニューモシスティス・カリニ、細菌、真菌および/またはウイルスの感染によるかまたはよらない肺炎(市中肺炎、院内肺炎または人口呼吸器関連肺炎を包含するが、これに限定しないが)および/または細菌、真菌および/またはウイルスの感染またはコロニー形成によるかまたはよらない嚢胞性線維症、気管支炎、気管支拡張症、びまん性汎細気管支炎、細気管支炎、閉塞性細気管支炎、細菌、真菌および/またはウイルスの感染またはコロニー形成によるかまたはよらない閉塞性細気管支炎性器質化肺炎(BOOP)、ならびに/または細菌、真菌および/またはウイルスのコロニー形成に罹患している患者の症候を緩和するかまたは処置する方法。

[実施態様15]

有効量のGM-CSFまたはその機能的ホモログが、気管内、気管支内または肺胞内投与により投与される、実施態様14の方法。

[実施態様16]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの溶液を気管支肺胞洗浄により投与される、実施態様14の方法。

[実施態様17]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの溶液をブラインド気管洗浄により投与される、実施態様14の方法。

[実施態様18]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの噴霧用溶液または懸濁液を投与される、実施態様14の方法。

[実施態様19]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログの噴霧用エアロゾルまたは吸入用粉末形態を投与される、実施態様14の方法。

[実施態様20]

対象が、GM-CSFまたはその機能的ホモログペグ化、リボソームまたはナノ粒子の調製された形態を投与される、実施態様14の方法。

[実施態様21]

対象が、気管支鏡検査中にGM-CSFまたはその機能的ホモログの直接的適用により、GM-CSFまたはその機能的ホモログを投与される、実施態様14の方法。

[実施態様22]

対象とは哺乳動物である、実施態様1の方法。

[実施態様23]

哺乳動物とはヒトである、実施態様22の方法。

[実施態様24]

ヒトとは、12歳よりも年齢が若い子供である、実施態様23の方法。

[実施態様25]

ヒトとは、12歳よりも年齢が高い成人である、実施態様23の方法。